

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
音楽基礎B3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大野元毅			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、ギタリスト				
授業概要											
デジタルの知識の習得は音楽家に必須である。また楽曲制作においてもMIDIにおける基礎的な理解力及びミックスマスタリング能力も欠かすことができない。楽曲制作に必要なハードウェアの仕組みを理解しあらゆる状況、現場に対応することの出来る環境に対応した機材をセットアップ出来る能力を身に着ける。また、楽曲制作において必要なMIDI及びITBにおける音響に関する知識を専門的に学ぶ。											
到達目標											
音楽制作に必要なハードウェアを必要に応じてセットアップ出来る知識及び仕組みを習得する。コンピュータを使った音楽制作の基礎となるMIDIの信号について理解する。音響学を通して音楽を多角的に学び、ミックスマスタリングまでを請け負える技術を習得する。MIDIを用いて各楽器をシミュレーションするにあたり、必要な楽器法、MIDIにおける表現方法、打ち込みの技術を習得する。											
授業方法											
教科書及び毎回各テーマに沿ったスライドや資料を配布し、オンラインにて学習します。一方的な知識の共有だけでなく、テーマに沿って、個人の目的や現場の要求を踏まえて考察する時間を設けます。理解度を深めるため設問を用意し、解説を通じて理解を深めていきます。各授業の最後にレポートを提出して頂きます。質問等あれば随時受け付けますので積極的な発言をお願い致します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
ミュージッククリエイターハンドブックMIDI検定公式ガイド											
回数	授業計画										
第1回	CHAPTER4-1「音が聞こえる」のはなぜ?について学ぶ。音と空気について、電気信号への変換、聴覚システムについて理解できる。										
第2回	CHAPTER4-2 「音」の要素について学ぶ。音の大きさ、音の高さ、音色について理解できる。										
第3回	CHAPTER4-2 「音」の要素について学ぶ。位相、対数とデシベルについて理解できる。										

音楽基礎B3

第4回	CHAPTER4-3倍音について学ぶ。スペクトラルアナライザーを用いた分析と、倍音列について理解できる。
第5回	CHAPTER4-3倍音について学ぶ。他のアナライズ方法や機材による倍音の特徴など発展的に理解できる。
第6回	CHAPTER4-4音程と音階について学ぶ。様々な音階について理解できる。
第7回	CHAPTER4-5デジタルオーディオについてを参考に標本化と圧縮技術について理解できる。
第8回	CHAPTER4-6 電子楽器の歴史について学ぶ。様々なアナログシンセサイザーの仕組みについて理解できる。
第9回	CHAPTER4-7 アナログシンセの音作りについて学ぶ。減算式アナログシンセサイザーの仕組みについて理解できる。
第10回	CHAPTER4-7 オーケストラ楽器の音域について理解できる。
第11回	CHAPTER5-1 録音について学ぶ。マイクロフォンについて理解できる。
第12回	CHAPTER5-1 録音について学ぶ。レベル、インピーダンスやバランス、アンバランスについて理解できる。
第13回	CHAPTER5-2 オーディオ編集について学ぶ。現代の音楽制作に必要な編集方法について理解できる。
第14回	まとめ1
第15回	まとめ2